

2021年度 前川ゼミ前期活動報告

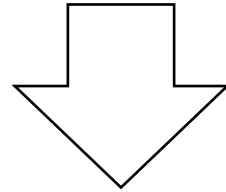
「地域住民が地域に興味関心を持てる仕掛けづくり」

2021年10月11日

J18056 白井裕介

ねらい

地域住民（小学生がメインターゲット）に遊びの一環として
地域学習に取り組んでもらえるような環境を作る。



西部地域が**地域活性化の成功例**として
諸地域が抱える課題解決の見本の一つとなる。

活動内容

- 西部地域イベントサポート
- 動画制作
- 地域資料のアーカイブ化

画像ダウンロード



みんなが歩いてきたイノシシコースは「死人郷路（しびとごうろ）」という名前がついています。

これは大昔の戦争、上田原の合戦（うへだはらのかっせん）で亡（な）くなった人たちの骨が、明治の人が井戸を掘（ほ）ったときに沢山（たくさん）でできたことからこのような名前が付けられました。

また、郷路というのは石が「ごろごろ」している「道路」という意味が込められています。

もしかしたら、今でも土を掘ったら骸骨（がいこつ）が出てくるかもしれません・・・

<https://d-commons.net/seibu/?c=31&p=3108>

ダウンロード



はじめに、この「生塚」の生（お）い立ちは、昔の「生心（うぶね）」と「塚穴（つかあな）」という地域（ちいき）の頭文字（かしらもじ）から誕生（たんじょう）しました。

この生塚神社では、春と秋にお祭りをします。春は「幸せに暮らせませうように」とお願いをして、秋は「お願い事をかなえてくれてありがとう」と伝えて神様にお礼をします。このおかげか、昔コレラという一度かかったら死んでしまうという病気が大流行（だいりゅうこう）しましたが、生塚に住む人たちは一人も命を落とさなかったという逸話（いつわ）があります。

また、生塚神社の鳥居（とりい）の近くの石に神紋（しんもん）{（しんもん）・・・神社のシンボルマーク}が刻（きざ）まれています。このマークは梶（かじ）の木の葉っぱで、実際（じっさい）にこの木が神社のどこかに植（う）えてあります。どこにあるかわかるかな??

<https://d-commons.net/seibu/?c=&p=3109>

自己評価

- ①動画での知識共有はこれからの学習に大変有効
→アナログでは不可能なコストパフォーマンス
- ②アーカイブ化作業、打ち合わせ等に参加できなかった
→**活動が停滞**

後期にむけて

- 小学生向けの学習支援を中心に、積極的な取り組みを
- その他アーカイブ化作業、打ち合わせへの参加